1. 基本	情報										
事務事	業	01080502	00020101	主	<b>坐夕</b> ↓	- <del>  </del>	「面敷理公教答理	重		担当部	建設部
事務事業名   土地区画整理総務管理事務事業								担当課	区画整理課		
<b>政策名</b> 01 快適で魅力あるまちづくり										グループ	業務第1グループ
施策名 01 生活基盤の充実										電話番号	45-5111
基本事	業名	01	住宅理	環境の整	備					内線番号	2911
予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ		
算	款	08	土木	費				事業期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始年	F度 H	23 年度~)
予 芸計 一般会計       算 款 08 土木費       科 項 05 都市計画費       日 02 土地区画軟理费								がは	□ 期間限定複数年度(		~ )
								根拠法令·条例等	なし		
<b>評価区分</b> 簡易評価 <b>評価対象</b> 1次評価							1次評価	関連計画	土地区画整理事業		

#### <Do> 2. 事務事業の概要・目的・指標

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

現在、施工中の麓第一土地区画整理事業、浜之市土地区画整理事業、隼人駅東土地区画整理事業の3地区を円滑に進めるための必要経費。 ①審議会委員・評価員の報酬 ②事務補佐員の賃金 ③補償交渉のための旅費 ④コピー機のトナーなどの消耗品費 ⑤公用車の燃料費 ⑥ 光熱水費 ⑦公用車等の修繕費 ⑧通信運搬費 ⑨手数料 ⑩土地区画整理事業賠償責任保険等の保険料 ⑪区画整理区域内管理業務に係る委託料 ⑫土木積算システムの賃借料等の使用料及び賃借料 ⑬区画整理区域内の補修のための原材料費 ⑭下水道使用者協力金としての負担金 ⑯公用車の重量税である公課費

C	) <b>活動指標</b> (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	土地区画審議会		□	2	5	3	6	5
1	評価員会		回	3	2	0	3	3
ゥ	事務補佐員		人	1	1	1	1	1
(2	2) 事務事業の目的							
	) <b>対象</b> 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	<b>28年度</b> (見込)
ア	土地区画整理事業							
1								
ゥ								
	<b>) 意図</b> ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年 <b>度</b> (実績)	<b>27年度</b> (目標)	28年度
ア	事業を円滑に進め完了させる							
1								
ゥ								
· (	3) 上位の基本事業							
_	) 基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	<ul><li>② 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)</li></ul>	単位	<b>24年度</b> (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (目標)	28年度
ア	ゆとりある住宅を確保できる							
イ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

ゥ

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改定版) (平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を確立するため歳出削減に関する取組みを全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むことで節減に努め、また、ランニングコスト細減に資する機器の導入等を給計し、維生終期、建立に対しているエレトマルを検討し、維生終期、 を検討し、維持管理費の縮減に努めることとされ

1	重 :	) 建	ω±	能移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
Ť	777	K A	, U) Ţ	止19			丰四	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫ま	を出	睁	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	0	)	他	千円			0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円			6,187	7,250	8,898
量		哥	業	費			千円	0	0	6,187	7,250	8,898
_												
l												

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

①報酬 128,700円 ②賃金 954,000円 ③旅費 263,391円 ④消耗品費 1,292,389円 ③燃料費 379,355円 ⑥光熱水費 6,517円 ⑦修繕費 389,913円 ⑧通信運搬費4,100円 ⑨手数料 12,350円 ⑩保険料 560,212円 ⑪季託料 475,600円 ⑫使用料及び賃借料 1,107,000円 ⑬原材料費 144,938円 ⑭負担金補助及び交付金 451,710円 ⑬公課費 16,600円

グループ制による効率的な事務を行い、経費の節減に努めながら3地 区の区画整理事業を進めた結果、事業の円滑な進捗が見られた。

	事務事業 コード	010805020	00020101	事 務事業名	土地区画	整理総	<b>務管理事</b> 和	<b>务事業</b>		部 課 D	建設部 医画整理課
6.	振り返り・	<see></see>							理	由	
	① この事	務事業の目	的は、基本	事業の意図に網	古びついています	ナか?					
		結びついて	いる								
A B		間接的に網	ぎびついてに	いる							
A目的妥当性		結びついて	いない								
当性	② ·この: 税金	事業をなぜ市 を投入して達	が行わない成する目的	†ればならない <i>0</i> ウですか?	<b>りですか?</b>						
		妥当である									
		見直す必要	<b>見がある</b>								
	3 成果#	「向上する余:	地(可能性	) はありませんか	٧?						
		向上する余	地はかなり	 りある							
		向上する余	地はある種	望度ある							
		向上する余	地はほとん	しどない							
В	4 廃止・	休止の影響に	はありません	<b>んか?</b>							
B有効性		影響がある	)								
性		影響がほと	んどない								
				形態(イベントや原の主体が実施する		の事務	類似事業 合の事務	がある場事業名等			
		類似の事業			307						
		類似の事業	美はあるが.	、統合又は連携	できない						
		類似の事業	<b>┊があり、</b> 紛	合又は連携で	きる						
	⑥ ·事務 ·補助	事業の手段(や	り方)を工夫 に働きかけて	することで、事業費で、市の負担を削減	きを削減できません ができませんか?	いか?	事業に係 費の節減を	る経費につ	いてはグル いることから、	ープ制により これ以上の削	常に節減に努め 減の余地は無い
	•	削減できな	い								
C 効		削減できる									
率性	・事務 (7) できまt	事業の手段(や	り方)を工夫	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減					可整理事業の事 成の余地は無い
-	-職員」	以外の対応やす		件費を削減できま	せんか?						
		削減できな									
	◎ 事務署	<b>事業の内容が</b>	一部の受益	益者に偏っている 確保されていま	ませんか?						
D公平性	また、	受益者負担 <i>0</i> 公平·公正		確保されていま	すか?						
性		見直す必要									
7		果 <pla< td=""><td>_</td><td>#独史)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></pla<>	_	#独史)							
7.		X \			【参考】前		改善の方向性			—————————————————————————————————————	<b>≫</b>
	事務事業 きの方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	1/4.11	廃止
		H	O 27 4日の k	┃ O .事異動により職	<b>■</b> 員が1名減にな	     1 L 当き	りの事務量	·が伸加1つ	いろ中で :	世に経費の節	減に図音したが
			こ取り組む。		貝が1石版にな	71/\=/	-7 * 7 于 1万 里	ハー・日カロレ	1 A D. I. C ! I	丁(ご)生員 ジスロ	灰に田 忠 いょか
(0)		71.51									
5	平成27年	度の改	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								
5		度の改	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								
5	枚善の内容	度の改 課題)		充減を小がけたっ	がら各地区の区	画整理事	<b>業が円滑</b> に	こ進められ	早期に完成	えできるようにを	ろめる。また、維
革改 (取)	女善の内容 り組むべき	度の改課題) 常田	に経費の負	布減を心がけなれ 務委託することに				こ進められ、	. 早期に完成	えできるようにす	ろめる。 また、維
革改(取)	枚善の内容	まの改 課題) 常理	に経費の負					こ進められ、	早期に完成	<b>さ</b> できるように多	ろめる。 また、維
革改 (取)	女善の内容 り組むべき 平成28年	まの改 課題) 常理	に経費の負					こ進められ、	早期に完成	文できるように多	ろめる。また、維
革改 (取)	女善の内容 り組むべき 平成28年	まの改 課題) 常理	に経費の負					こ進められ.	早期に完成	<b>さできるように</b> 変	<b>予める。また、維</b>
(3)向性	女善の内容 り組むべき 平成28年	要の改課題)	に経費の負	務委託することに				こ進められ、	早期に完成	文できるように多	ろめる。 また、維
(3) (1) (3)	文善の内容 り組むべき 平成28年 生・取組目 2次評価報	要の改善課題) 常要 できまる 常要 できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	に経費の貸 型作業を業	務委託することに			を図る。 	<ul><li>ご進められ、</li><li>連携</li></ul>	早期に完成	文できるように多	
(3) (1) (3)	牧善の内容 り組むべき 平成28年 生・取組目 なっています。	要の改善課題) 常要 できまる 常要 できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	に経費の食 担作業を業 部長評価	務委託することに	こより効率的な事	耳務改善·	を図る。 				
(3) (1) (3)	文善の内容 り組むべき 平成28年 生・取組目 2次評価報	要の改善課題) 常要 できまる 常要 できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	に経費の食 担作業を業 部長評価	務委託することに	こより効率的な事	耳務改善·	を図る。 				
(3)(1)善8. 2	文善の内容 り組むべき 平成28年 生・取組目 2次評価報	要の改善課題) 常要 できまる 常要 できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	に経費の食 担作業を業 部長評価	務委託することに	こより効率的な事	耳務改善·	を図る。 				

9 コストの推移												
コード	0108030200020101	事業名	土地区画整理総務管理事務事業	担当課	区画整理課							
事務事業	0108050200020101	事務	土地区面敷理处数等理束数束要	担当部	建設部							

9. =	ℷスŀ	-の推移			
		(単位:千円)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度(計画)
1	報		129	417	417
2	給				
3	職				
4	共				
5	災				
7	賃		954	990	990
8	報		0.00	550	550
9	旅		263	552	552
10	<u>交</u> 需		2.069	9.150	2,351
''	m	消耗品費	2,068 1,292	2,150 1,294	1,294
		燃料費	379	389	450
		食糧費	319	309	450
		印刷製本費			
		光熱水費	7	7	7
		修繕料	390	460	600
		期 材 料 費	550	100	
		飼料費			
		医薬材料費			
12	役		576	828	835
		通信運搬費	4	5	5
		広 告 料			
		手 数 料	12	260	260
		保 険 料	560	563	570
13	委	託 料	476	465	1,815
14		用料及び賃借料	1,107	1,219	1,219
15	エ	事請負費			
16	原		145	160	250
17		有財産購入費			
18		品購入費		0	
19		担金補助及び交付金	452	450	450
20	扶				
21	貸				
22		賞補填及び賠償金			
23		還金利子及び割引料 ・ ※ 13・15・山 ※ ◆			
24	積	資及び出資金 立 金			
26	寄				
27	<del>可</del> 公		17	19	19
28	 繰		11	10	10
	計		6,187	7,250	8,898
		国庫支出金	0	0	
В.1	特定財源	県支出金	0	0	
財源内訳	財	地方債	0	0	
内	源	その他	0	0	
計	_	般 財 源	6,187	7,250	8,898
		計	6,187	7,250	8,898
,	補助	国			
補	耳	力 基 本 額			

### 平成26年度補正•流用状況

当初予算	7,612
補正予算	0
流用・充用	11
予算合計	7,623

### 平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
	合 計	0

1. 基本	情報												
事務事	業	01080502	o1010102 <b>3</b>	巨	<b>坐夕</b>	主字古	<b>活</b> 地	車柴		担当部	建設部	邹	
事務事業名   住宅市街地総合整備事業									担当課 区画整理課				
政策:	名	01	快適で	魅力ある	るまちつ		グループ	業務	第1グル	ープ			
施策:	名	01	生活基	盤の充		電話番号 45-5111							
基本事業名 01 住宅環境の整備										内線番号	2912		
予	会計	一般	会計					<del>+ **</del>	□ 単年度のみ				
予 算 科 目	款	08	土木費					事業 — <mark>期間</mark>	□ 単年度繰返 (開始 <sup>全</sup>	F度			
科	項 05 都市計画費							初申	■ 期間限定複数年度	( H10	~	H30	)
Ħ	目 02 土地区画整理費							根拠法令·条例等	特になし				
<b>評価区分</b> 簡易評価 <b>評価対象</b> 1次評価 <b>関連計画</b>													

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(1) 〒30年来の協会(共体的なくの、予報、計解と記述) 浜之市土地区画整理事業をスムーズに進め、快適な居住空間の創出、都市機能の更新、特に密集市街地の整備改善を図るため、平成10年度 に国土交通省から住宅市街地総合整備事業の認可を受け、平成11年度から事業を実施している。 既成市街地(例:住宅密集地)において、公共施設の整備改善を含む総合的な市街地整備を目的とした事業である。住宅市街地総合整備事業 区域内の老朽住宅を除去することで、防災上の安全性の確保を図っている。 また、建物移転が可能となるスペースも確保することで、区画整理事業のスムーズな進捗に寄与している。 ①老朽建築物の除却 ②公共施設(道路・公園・コミュニティ施設等)整備 ③従前居住者用の受け皿住宅の整備

a	) 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
L	<b>/ 伯勒伯傑</b> (事務事業)/伯勒里/		丰位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	老朽建築物除却棟数		棟	2	0	1	2	2
1	防火水槽設置数		基	0	1	1	0	1
ゥ								
(;	2) 事務事業の目的							,
	) <b>対象</b> 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	浜之市地区の老朽住宅							
1								
ゥ								
_	<b>)意図</b> ②対象をどうしたいのか)	<b>⑤ 成果指標</b> (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年 <b>度</b> (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	買収・除却し、密集市街地を整備改善 する							
1								
ゥ								
Ü	3) 上位の基本事業							
_	<b>基本事業の意図</b> さらにどのような成果に結びつくのか)	<ul><li>⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)</li></ul>	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	ゆとりある住宅を確保できる							

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

ゥ

・風水害等で影響があると思われる老朽住宅が

・風水害等で影響があると思われる老朽住宅が多いため、事業対象者から早期の除却を望む声が多かった。 ・公園整備については、地区住民等で構成される浜之市地区まちづくり協議会で協議いただき、利用者の利便性の向上、子供達の安全確保、周囲人家への配慮等について様々な意見をいただき、それらを取り入れながら公園整備を行った。

1	Table 1	* #	ωt	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ŧ.	777	R IR	,V) 1	进刊			半世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	睁	千円	15,019	32,815	10,537	32,950	42,950
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	)	他	千円	9,783	8,608	10,890	8,463	8,460
投入量			_	般	財	源	千円	5,258	26,132	0	24,587	35,290
量		哥	業	費			千円	30,060	67,555	21,427	66,000	86,700
-												

### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)	《取組内容を数値等	等により具体的に記載>	(2)平成26年度の成果
1.委託料 老朽建築物等除却設計等 2.工事請負費	2件	318,600円	平成26年度は、防火水槽を 火水利の確保が出来た。また 朽建築物の除却を行ったこと
老朽建築物等除却工事等 浜之市地区緑道舗装工事(繰起	2件 或) 1件	5,108,400円 7,695,000円	率は82.8%となった。
3. 公有財産購入費 老朽建築物購入	1件	2,665,100円	
4.補償補填及び賠償金 老朽建築物移転補償	1件	5,640,200円	

平成26年度は、防火水槽を1基整備したことにより、これまで以上に防火水利の確保が出来た。また、区域内に5本の緑道を完成させ、1戸の老朽建築物の除却を行ったことで、周辺環境の充実が図られ、事業の進捗 率は82.8%となった。

<mark>6. 振</mark>		01080		事業名	1生毛巾	i街地総合	怪備事業	担当部	区画图	整理課
	長り返り ✓	<see></see>						理由		E- <b>Z</b> W
(	① この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に約	吉びついています	<sup>-</sup> か?				
		結びつ	いている			_				
			に結びついてい	 \る						
的亚		結びつ	いていない							
A目的妥当性	② ·この <sup>1</sup> ② · 郑全:	事業をな <sup>.</sup> を扱 ス 1 ·	 ぜ市が行わなけ て達成する目的	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	<b>のですか?</b>					
_	- 1元 <u>亚</u> -	妥当で		1 C 9 13. :						
		見直す	 必要がある							
(	3 成果か	「向上する	 る余地(可能性)	はありませんか	١?					
		向トす	る余地はかなり	  ある		_				
			る余地はある程							
		ーーーー	る余地はほとん	 どない						
<b>D</b>	4) 廃止・	休止の影	<del></del> /響はありません	.か?						
B有効性		影響が				_				
性			。。。 ほとんどない							
0				形態(イベントや)	<u></u> 啓発等)を持つ他 Sものを含む。)	の事務	類似事業がある場 合の事務事業名等			
	● 事業は		事業はない	の主体が実施する 	5ものを含む。)		合の事務事業名等 			_
			<del>事業はない</del> 事業はあるが、	統合又は連携	できない	_				
			事業があり、統							
0	6 事務事	事業の手段	と(やり方)を工夫で	することで、事業費	せん しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅう しゅう	<mark>か?</mark> 他	の工事で出された	・残土を本事業/	こ流用するなど	により、常り
	<ul><li>補助金</li><li>■</li></ul>	はなど、交付 削減で	付先に働きかけて	、市の負担を削減	或できませんか?	<b></b>	骨の削減を行ってい	いるため、これり	上の削減の余	地はない。
C		削減で								
C 効率性				することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減 現	在職員一人で対	<b></b>	物調査等はす	でに外部す
性	<ol> <li>できませい</li> <li>・職員以</li> </ol>	せんか? 以外の対応	でや委託により人作	<b>牛費を削減できま</b>	せんか?	はな	おり、人件費削減い。事業全体に	関しては早期完成	ため、これ以上 龙に向けさらなえ	の削減の気
									M(-1.11) C 3 M	の批り料で
		削減で	きない				とで、人件費削減	につながる。	X(-1/1/23 a)	O AX O RELOY
		削減で	きる			9.0	とで、人件費削減	<b>たつながる。</b>	741=17,17 C J W	Odx Akt &
	8 事務事	削減で			1-1		とで、人件費削減	につながる。 	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	コ 月又 り 春吐 クティ
	8 事務事	削減で 事業の内 受益者負	きる 容が一部の受益		1-1		とで、人件費削減	<b>こつながる。</b>	XXXXX	<b>シ</b> ロスソがエクケイ
	8 事務事また、	削減で 業の内容 受益者負 公平・2	きる 容が一部の受益 担の公平性が		1-1	95	とで、人件費削減	<b>こつながる。</b>	XX.1.7.2.3 a	<b>シャパリが止</b> の
公平性	8 事務事また、	削減で 事業の内容 受益者負 公平・2 見直す	きる 容が一部の受益 担の公平性が 公正である	確保されていま	すか?	年度の改革改き		こつながる。 雑続	200	<b>シ</b>
公平性 7. 1:	8 事務事また、	削減で 事業の内容 受益者負 公平・グ 見直す	きる 容が一部の受益 担の公平性が行 公正である 必要がある	確保されていま	すか?		の方向性《		休止	<b>&gt;</b>
7. 1.	8 事務事また、	削減で 事業の内容 受益者負 公平・グ 見直す	きる 容が一部の受益 担の公平性が 公正である 必要がある PLAN>(組積	確保されていま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	すか?	年度の改革改制	の方向性≪	継続		<b>&gt;</b>
7. 1.	■ 事務事また、 □ □ <b>次評価結</b>	削減で 事業の内容 受益者負 公平・グ 見直す	きる 容が一部の受益 担の公平性が 公正である 必要がある PLAN>(組織 継続	確保されていま (決定)  やり方改善	すか? 【参考】前 コスト拡充	年度の改革改計コスト縮小	の方向性≪	維続統合		<b>&gt;</b>
7. 1: (1) 事(2) 平	次評価結事務事業(の方向性	削減で事業の内容量 公平・2 見直す 果 <f< td=""><td>きる 容が一部の受益 担の公平性が 公正である 必要がある PLAN&gt;(組織 継続</td><td>確保されていま (決定)  やり方改善</td><td>すか? 【参考】前 コスト拡充</td><td>年度の改革改計コスト縮小</td><td><b>○の方向性≪</b>  連携</td><td>維続統合</td><td></td><td><b>&gt;</b></td></f<>	きる 容が一部の受益 担の公平性が 公正である 必要がある PLAN>(組織 継続	確保されていま (決定)  やり方改善	すか? 【参考】前 コスト拡充	年度の改革改計コスト縮小	<b>○の方向性≪</b> 連携	維続統合		<b>&gt;</b>
7. 1: (1) ] (2) 平 (2) = (2) - (2) - (2) = (2) - (2) - (2) = (2) = (2) - (2) = (2) = (2) - (2) = (2) = (2) = (2) - (2) = (2) = (2) = (2) = (2) = (2) = (2) =	歌事務事また、	削減で 事業の内容量 公平・グラー・ 見直す ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	きる 容が一部の受益 担の公平性が 公正である 必要がある PLAN>(組織 継続	確保されていま (決定)  やり方改善	すか? 【参考】前 コスト拡充	年度の改革改計コスト縮小	<b>○の方向性≪</b> 連携	維続統合		<b>&gt;</b>
7. 1: (1) ] (2) 平 (2) (2) = (2) - (2) - (2) - (2) - (2) - (2) = (2) - (2) - (2) - (2) = (2) - (2) - (2) = (2) - (2) - (2) = (2) - (2) - (2) = (2) - (2) = (2) - (2) - (2) = (2) - (2	8 事務事また、	削減で 事業の内容量 公平・グラー・ 見直す ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	きる 容が一部の受益 担の公平性が 公正である 必要がある PLAN>(組織 継続	確保されていま (決定)  やり方改善	すか? 【参考】前 コスト拡充	年度の改革改計コスト縮小	<b>○の方向性≪</b> 連携	維続統合		<b>&gt;</b>
7. 1: (1) ] (2) 平 (2) (2) = (2) - (2) - (2) - (2) - (2) - (2) = (2) - (2) - (2) - (2) = (2) - (2) - (2) = (2) - (2) - (2) = (2) - (2) - (2) = (2) - (2) = (2) - (2) - (2) = (2) - (2	8 事務事また、	削減で 事業の内容量 公平・グラー・ 見直す ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	きる 容が一部の受益 担切公平性が 公正である 必要がある PLAN>(組制 継続  O ・権利者との何	確保されていま 決定) やり方改善 言頼関係を構築	すか? 【◆考】前 コスト拡充 こしながら、事業の	年度の改革改革 コスト縮イ ウ早期完成ん	<b>○の方向性≪</b> 連携	維続統合		>
7. 11 (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (4) (2) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	事務事また、 次評価結 事務事の方向性 平成27年月	削減で 3業の内負 4 マ・2 見 本	きる 容が一部の受益 担切公平性が 公正である 必要がある PLAN>(組制 継続  O ・権利者との何	確保されていま 決定) やり方改善 言頼関係を構築	すか? 【◆考】前 コスト拡充 こしながら、事業の	年度の改革改革 コスト縮イ ウ早期完成ん	<b>で方向性≪</b> 連携  二向けて取り組んで	維続統合		>
7. 11 (1) (1) (1) (2) (2) (3) (3) (3)	8 事務事また、	削減ででは、大きのでは、までは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、までは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たら	きる 容が一部の受益 担切公平性が 公正である 必要がある PLAN>(組制 継続  O ・権利者との何	確保されていま 決定) やり方改善 言頼関係を構築	すか? 【◆考】前 コスト拡充 こしながら、事業の	年度の改革改革 コスト縮イ ウ早期完成ん	<b>で方向性≪</b> 連携  二向けて取り組んで	維続統合		>
7. 11 (1) (1) (1) (2) (2) (3) (3) (3)	8 事務事また、 次評価結 事務事常向性 平成27年に容さ	削減ででは、大きのでは、までは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、までは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たら	きる 容が一部の受益 担切公平性が 公正である 必要がある PLAN>(組制 継続  O ・権利者との何	確保されていま 決定) やり方改善 言頼関係を構築	すか? 【◆考】前 コスト拡充 こしながら、事業の	年度の改革改革 コスト縮イ ウ早期完成ん	<b>で方向性≪</b> 連携  二向けて取り組んで	維続統合		>
7. 11 (1) 善 (2) 平 (2) 平 (3) 平 (3) 平 (3) 平 (4) 平 (4) 平 (5) 平 (5) 平 (6) = 10 (6) \mp (6) = 10 (6) = 10 (6) = 10 (6) = 10 (6) = 10 (6) = 10 (6) = 10	事務また、 次評価結 事務方の 事務方の 平成27年 一 平成27年 一 平成27年 一 で表記 ・ 取記 で表記 ・ 取記 ・ の で表記 ・ の で表記 ・ の で表記 ・ の で の の で の に の の に の の に の の の の の の の の の の の の の	削減の内負 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	きる 容が一部の受益 担の公平性が 公正である 必要がある PLAN > (組続 機続 O ・権利者との信	確保されていま 決定) やり方改善 言頼関係を構築	すか? 【◆考】前 コスト拡充 こしながら、事業の	年度の改革改革 コスト縮イ ウ早期完成ん	<b>で方向性≪</b> 連携  二向けて取り組んで	維続統合		>
7. 11 (1) 善 (2) 平 (2) 平 (3) 平 (3) 平 (3) 平 (4) 平 (4) 平 (5) 平 (5) 平 (6) = 10 (6) \mp (6) = 10 (6) = 10 (6) = 10 (6) = 10 (6) = 10 (6) = 10 (6) = 10	事務また、 次評価結 事務方の 事務方の 平成27年 一 平成27年 一 平成27年 一 で表記 ・ 取記 で表記 ・ 取記 ・ の で表記 ・ の で表記 ・ の で表記 ・ の で の の で の に の の に の の に の の の の の の の の の の の の の	削減の内負 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	きる 容が一部の受益 担切公平性が 公正である 必要がある PLAN>(組制 継続  O ・権利者との何	確保されていま 決定) やり方改善 言頼関係を構築	すか? 【◆考】前 コスト拡充 こしながら、事業の	年度の改革改革 コスト縮イ ウ早期完成ん	<b>で方向性≪</b> 連携  二向けて取り組んで	維続統合		>
7. 11 (1) 善 (2) 马改り (3) 当性 (3) 当性 (1) 引	次評価結果では、100円の100円の100円の100円の100円の100円の100円の100円	削減でする は、では、 は、 は、では、 は、は、 は、は、 は、は、は、 は、は、は、は、は、は、は、は、	きる 容が一部の受益 担の公平性が 公正である 必要がある PLAN > (組続 機続 O ・権利者との信	確保されていま 決定) やり方改善 言頼関係を構築	すか? 【◆考】前 コスト拡充 こしながら、事業の	年度の改革改革 コスト縮イ ウ早期完成ん	での方向性≪ 連携 上向けて取り組んで 工事を実施する。	維続統合		廃止
7. 11 (1) ] 善 (2) 平改り (3) 平 (3) 平 (1) ] [1]	事また、 事また、 次評価結果性 平成27年容き	削減でする は、では、 は、 は、では、 は、は、 は、は、 は、は、は、 は、は、は、は、は、は、は、は、	きる 容が一部の受益担の公平性が公正である 必要がある PLAN>(組制 継続 ○ ・権利者との何 ・老朽建築物	を ( ないま	すか?  【◆考】前  コスト拡充  しながら、事業  そと耐震性貯水槽	年度の改革改章 コスト縮イプラ早期完成/	での方向性≪ 連携 上向けて取り組んで 工事を実施する。	統合	休止	
7. 11 (1) 善 (2) 平 (2) 平 (3) 平 (3) 平 (3) 平 (1) =	次評価結果では、100円の100円の100円の100円の100円の100円の100円の100円	削減でする は、では、 は、 は、では、 は、は、 は、は、 は、は、は、 は、は、は、は、は、は、は、は、	きる 容が一部の受益担の公平性が公正である 必要がある PLAN>(組制 継続 ○ ・権利者との何 ・老朽建築物	を ( ないま	すか?  【◆考】前  コスト拡充  しながら、事業  そと耐震性貯水槽	年度の改革改章 コスト縮イプラ早期完成/	での方向性≪ 連携 上向けて取り組んで 工事を実施する。	統合	休止	廃止
7. 11 ]	□ 事また、□ □   本部   次   下番   1   次   下番   1   次   下番   1   次   であった。   下番   1   次   であった。   下番   1   であった。   下番   であった。   であっ	削減でする は、では、 は、 は、では、 は、は、 は、は、 は、は、は、 は、は、は、は、は、は、は、は、	きる 容が一部の受益担の公平性が公正である 必要がある PLAN>(組制 継続 ○ ・権利者との何 ・老朽建築物	を ( ないま	すか?  【◆考】前  コスト拡充  しながら、事業  そと耐震性貯水槽	年度の改革改章 コスト縮イプラ早期完成/	での方向性≪ 連携 上向けて取り組んで	統合	休止	廃止
7. 11 ]	次評価結果では、100円の100円の100円の100円の100円の100円の100円の100円	削減でする は、では、 は、 は、では、 は、は、 は、は、 は、は、は、 は、は、は、は、は、は、は、は、	きる 容が一部の受益担の公平性が公正である 必要がある PLAN>(組制 継続 ○ ・権利者との何 ・老朽建築物	を ( ないま	すか?  【◆考】前  コスト拡充  しながら、事業  そと耐震性貯水槽	年度の改革改章 コスト縮イプラ早期完成/	での方向性≪ 連携 上向けて取り組んで	統合	休止	廃止

事務事業	0108050201010102	事。務	<b>住空市</b>	<b>打地総合整備事業</b>	担当部	建設部
コード	0100000201010102	事業名	压毛师	可心心口正洲于木	担当課	区画整理課
9. コストの	推移					
	(単位:千円)	平成26年	年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平	成28年度(計画)

<b>3.</b> -	コストの推	129						
	(道)	単位:千円)	平成26年度	(決算)	平成27年度	(当初予算)	平成28年度	(計画)
1	報	栖						
2	給	料						
3	職員							
4		<b>養</b>						
5		甫 償 費						
7	賃	金						
8		費						
9	旅	費						
10		祭 費						
11		費		0		0		0
	消耗							
		料費						
	食	糧費						
		製本費						
		水費						
	修	繕料 + 炒 弗						
	朗	大料 費 料 費						
		材料費						
12		<b>粉料</b> 真 务 費		0		0		0
'2		運搬費		0		0		0
	広	告 料						
	手	数料						
	保	険 料						
13		<del>氏 料</del>		319		500		2,600
14	使用料及							
15		青 負 費		12,803		9,500		9,100
16	原材	料費						
17	公有財產	<b></b> 達購入費		2,665		33,000		35,000
18	備品貝	構入 費						
19	負担金補助							
20		助 費						
21		寸 金						
22	補償補填			5,640		23,000		40,000
23		及び割引料						
24	投資及7							
25		<u></u> 金						
26	寄る	<del>付金</del> 果 費						
27 28		<del>業 質</del> 出 金						
28	計	ᆸ		21,427		66,000		86,700
	同点	支出金		10,537		32,950		42,950
	特県	<u> </u>		10,557		32,930		42,500
財源内訳	特定財源と	方債		0		0		
内	源を	の他		10,890		8,463		8,460
訳	一般	財源		0		24,587		35,290
		+		21,427		66,000		86,700
		国	1/2	,	1/		1/2	
*	甫助率	県						
補	助基	本 額		21,074				

### 平成26年度補正•流用状況

当初予算	85,400
補正予算	-71,262
補正第7号	-71,262
流用・充用	-11
予算合計	14,127

#### 平成26年度特定財源内訳

干队20干及行足别源	THE THE PERSON NAMED IN TH	
区分	名称	金額
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	10,537
その他	駐車場使用料	230
その他	住宅使用料	6,715
その他	繰越金	3,945
		10,890

1. 基本	情報																				
事務事	業	01080502	201010102	主	<b>坐</b> 夕 ?	陸笠_	_ <del>           </del>	区画整理	車柴							担当	邹	建設	部		
I	ド	0100000	.01010103	争扬争	*10	毘夘	그	四四定任	尹未							担当記	果	区画	整理調	Ę	
政策:	名	01	快適	で魅力あ	るまちつ	づくり										グルー	-プ	業務	第2グ	ルー	プ
施策	名	01	生活	基盤の充	実										Î	電話番	号	45-5	5111		
基本事	業名	01	住宅	環境の整	:備										ı	内線番	号	2913	3		
予	会計	一般	会計							± **		単名	年度の	み							
予 算 科 目	款	08	土木	費						事業 期間		単	年度繰	返(開	始年月	ŧ					
科	項	05	都市	計画費						79] [P]		期	間限定	複数年	度(	H5		~	H28	)	
目	目	02	土地	区画整理	費				根	拠法令·条例等	特に	なし									
評価区	(分		簡易評	平価	評価:	対象	1	次評価	艮	国連計画											

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

産第一地区は、空港前の住宅地として健全な市街地(42.5ha)の形成を図る。工事については、造成に伴う流末排水を考慮した上で、地権者の 了承が得られた区域から整備を進めている。当地区は、空港に近く、幼稚園、小・中学校、病院、駐在所、高速道路インターチェンジなどの公共施 設の整った地域であり、現在、地権者から減歩として提供された保留地(宅地)の販売を行っている。販売方法については、空港や周辺企業へ勤め る方への営業活動・霧島市広報誌への掲載・インターネットによるホームページでの紹介・鹿児島県宅地建物取引業協会の媒介などを行っている。 ①道路築造工事(都市計画道路・区画道路・特殊道路)

- ②宅地·公園整地工事 ③建物等移転補償
- ④保留地販売

- ※流末排水(造成地からの雨水等を安定的に処理できる排水施設) ※減歩(関係所有者の整理前の土地から目的の土地を生み出すために減らした土地面積)

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	建物移転		戸	2	1	0	0	0
1	宅地整地		m²	7,977	11,100	15,246	7,800	5,000
ゥ	道路築造		m	1,427	1,282	863	300	350
(2	2)事務事業の目的							
	) <b>対象</b> 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	<b>24年度</b> (実績)	<b>25年度</b> (実績)	26年 <b>度</b> (実績)	<b>27年度</b> (見込)	<b>28年度</b> (見込)
ア	麓第一地区の区画整理区域							
1								
ゥ								
_	) <b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	<b>25年度</b> (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	良好な宅地として整備する							
1								
ゥ								
(3	B)上位の基本事業							
_	基本事業の意図	⑦基本事業の成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	らにどのような成果に結びつくのか)	(左記⑥意図の達成度を表す指標)		(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア	ゆとりある住宅を確保できる							
1								
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

事業地権者及び事業区域近隣住民より、早期 完成を望まれているが、今後、H26年度国の補 助期間終了に伴い、残事業の財源確保が課題 となっている。

4.	事美	美費	の‡	<b>推移</b>			単位	<b>24年度</b> (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度
			国	庫支	₹出	金	千円	32,619	31,483	36,119	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ナ.	<u> </u>	債	千円	86,093	55,800	63,100	0	0
	費	訳	そ	σ.	)	他	千円	0	626	28,827	6,000	30,000
投			_	般	財	源	千円	43,451	36,730	25,877	13,000	25,000
投入量		事	業	費			千円	162,163	124,639	153,923	19,000	55,000

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

#### (2)平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載

1. 委託料

仮換地指定通知書作成等 業務委託(現年)

1件 1,890,000円

4件 38,730,400円

10件 91,372,820円

2. 工事請負費 都市計画道路舗装工事等 (現年)

都市計画道路築造工事等(繰越) 3. 補償補填及び賠償金 建物等移転補償等(現年)

10件 21,929,560円

地区内の都市計画道路(100%)、区画道路(74%)が完成し、交通の利便性が向上した。また、街区(宅地)整地に伴い住宅着工戸数も増え、着実に市街化が進んだ。事業費進捗率は約91.2%、仮換地指定率は約9 8.8%、保留地販売は約48.2%となった。

틕	事務	事業 -ド	01080	50201010103	事 務 事業名	麓第-	-土地區	区画整理	里事業		当 部 当 課		設部 Ī整理課
6.	振り	返り <	SEE>								理由		
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に約	吉びついています	ナか?						
			結びつ	いている									
台			間接的	 ]に結びついてい	 vる								
的妥			結びつ	いていない									
A目的妥当性	2			ぜ市が行わなけ て達成する目的		<b>のですか?</b>							
-		- 1元並	妥当で		1 C 9 13. :								
				<u>························</u> ············									
	(3)	成果が	向上する	る余地(可能性)	はありませんか	)\?							
				る余地はかなり									
				る余地はある程									
				る余地はほとん									
	4)	廃 ╟ • ℓ	 休止の影	 /響はありません	か?								
B有効性	P	, <del>д</del> ш	影響が										
性				'める  'ほとんどない				-					
	<u> </u>	 類似の	月的(玄	象・意図) 又は	形態(イベントや)	 啓発等)を持つ他	の事務	類似	 事業がある場			_	
	(5)		_	んか?(市以外の	の主体が実施する	ものを含む。)		合の	事務事業名等				
				事業はない	<b>なんりはす</b> 様	<b>エキナリ</b> 、							
				)事業はあるが、 				-					
	<b>©</b>						か?						の検討を行うこと
	6				、市の負担を削減	費 <mark>を削減できません</mark> 或できませんか?		すること					也工事から流用 削減の余地は
				きない 				ない。					
C 効率	□ 		削減で		ナスニンで 人件者	貴(延べ業務時間)	を削減	浜之市	市地区、隼人駅		と類似し	た事務処理る	をグループ間で
性	7	できませ	んか?	なや委託により人作			C 13/1%	連携す等に地	ることで、業務 域ボランティア	時間の能 を提案し	削減を行 ノ、維持	テっている。また 管理に要する	と、工事受注者 人件費の削減も
		•	削減で	きない				行って	おり、これ以上	の削減の	り余地に	はない。	
			削減で	きる									
D	8	事務事また、	業の内 受益者負	容が一部の受益 負担の公平性が	を を を とれていま	ませんか? :すか?							
公平性				公正である									
性			見直す	必要がある									
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN&gt;(組績</th><th>決定)</th><th>[##]#I</th><th>生産の改</th><th>革改善のプ</th><th>= 向性≪</th><th></th><th>継続</th><th></th><th><b>»</b></th></f<>	PLAN>(組績	決定)	[##]#I	生産の改	革改善のプ	= 向性≪		継続		<b>»</b>
(1)	古王	多事業の	アンサギ	継続	やり方改善	コスト拡充		~縮小	連携	\$#	·····································	休止	廃止
		方向性		0	(7)7,00,0		7/1	小田・丁・	0	ועווי	<b>.</b> н		
				・他工事から搬	人土(良質土)(	▲ の有効活用を行	い、コス	ト削減を	 進める。	( 11 mm 2 - 17	" \		
		成27年 <i>[</i>	度の改	・浜之市地区、	<b>隼人駅東地区</b>	との連携により、	技術力(	の強化と	効率的な事務が	処理を推	主進する	0	
		の内容 lむべき	課題)										
				・事業費の確保 ・仮換地指定等	:に向け、保留は :アに向け 未り	也販売の課題解 指定地の地権者	決を行い 交渉を行	、 い、 販売 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	足進に繋げる。				
(3)	平局	成28年月	きの方	・未施工箇所の	工事を進め、早	早期の工事概成	を目指す	r.					
向性	生• 取	<b>双組目標</b>	E .		※工事概成と	は、宅地整地、道	道路・水	路築造コ	匚事の完成				
	o view	Str. Inc. Ad-	田/-	w in Esser									
6.	乙伙	評価結	末 (担	当部長評価)								- <del></del>	ria J
		务事業の 向性	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	紡	合	休止	廃止
(2)	総	評											
				i									

事務事業 0108050201010103	事務事業名麓第	5一土地区画整理事業	担当部	建設部
•	事業名 2021		担当課	区画整理課
9. コストの推移				
(単位:千円)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算	三) 平	成28年度(計画)
1 報 酬				
2 給 料				
3 職員手当等				
4 共 済 費				
5 災害補償費				
7 賃 金				
8 報 償 費				
9 旅 費				
10     交     際     費       11     需     用     費		0	0	
消耗品費		U .	0	
燃料費				
食糧費				
印刷製本費				
光熱水費				
修繕料				
期 材 料 費				
飼料費				
医薬材料費				
12 役 務 費		0	0	(
通信運搬費				
広 告 料				
手 数 料				
保 険 料				
13 委 託 料	1,	890	3,000	1,000
14 使用料及び賃借料				
15 エ事請負費	130,	103	5,000	43,000
16 原 材 料 費				
17 公有財産購入費				
18 備品購入費				
19 負担金補助及び交付金				
20 扶 助 費				
21 貸 付 金		000	1 222	
22 補償補填及び賠償金	21,	930	1,000	11,000
23 償還金利子及び割引料				
24 投資及び出資金				
25 積 立 金				
26 寄 附 金				
27     公     課     費       28     繰     出     金				
28 繰 出 金	150	002	0.000	EE 000
	153,		9,000	55,000
特 国庫支出金 県 支 出 金	ან,	119	0	
特に関する出金は、一方債のでは、大力では、大力のでは、大力のでは、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力	£9	100	0	
財源内     大力     大力     大力       ボック     イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イ			6,000	30.000

## 補助基本額 平成26年度補正·流用状況

補助率

一 般 財 源

玉

県

当初予算	80,974
補正予算	0
流用・充用	7,001
予算合計	87,975

#### 平成26年度特定財源内訳

25,877

153,923

65,672

0.55

一次20十支付足別///	r 1 D/C	
区分	名称	金額
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	36,119
地方債	都市計画事業債	63,100
その他	土地建物売払収入	6,422
その他	繰越金	22,405
	合 計	128,046

13,000

19,000

25,000

55,000

1. 基本	情報																	
事務事	業	01080502	01010104	主	世夕 :	近つま	= 1- Hh	マ画敷押り	<b>巨柴</b>				担当部	3	建設部			
J-F								尹未	世 <b>担当課</b> 区画整理課									
政策名 01 快適で魅力あるまちづくり												グルーフ	ĵ :	業務	第1グ/	レーブ	p	
施策	施策名 01 生活基盤の充実									電話番号 45-5111					111			
基本事	業名	01	住宅	環境の整	備								内線番号	子 :	2912	2		
	会計	一般	会計						± **	Π	□ 単年度のみ							
算	款	08	土木?	費					事業期間		□ 単年度繰返 (開	始年月	度					
予算     表記 一板会計       算数     08 土木費       科項の5 都市計画費       日の2 土地区画整理费						初申		■ 期間限定複数年	度(	H9		~	H30	)				
目	目	02	土地	区画整理	.費				根拠法令·条例等	特	になし							
評価区	分	1	簡易評	¥価	評価:	対象	-	1次評価	関連計画									

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

マ成元年に浜之市地区の住民から区画整理事業の要望があり、平成2年度にまちづくり基本調査、平成3年度に区画整理事業調査を行い、また、平成5年2月には事業推進協議会が設立され、事業実施に向けて取組が始まった。 浜之市地区は国道10号沿線、隼人港(通称 浜之市港)を中心に発展してきた市街地であるが、地区内の道路は狭く消防自動車などの緊急車両の進入が困難であり、また隼人港付近については宅地規模が小さく住宅が密集した住宅地(要移転戸数340戸)であり、公園などが無い状態であったため、都市計画道路・区画街路等整備や公園等の整備とわせ、土地利用の増進及び安全で快適な住宅地の供給を図り、市街地の再生と地域の発展を目的とした区画整理事業を行う。 ①道路築造工事(都市計画道路・区画道路・特殊道路)②宅地・公園整地工事 ③建物等移転補償 ④保留地等販売 ※保留地・・・区域の地権者の方々から減歩により土地を提供していただいて新たに生み出した土地で、売却収入は事業の財源の一部になる。

① 活動指標(事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア建物移転		戸	16	12	3	3	3
イ 宅地整地		m²	6,800	8,951	6,073	3,000	3,000
ウ 道路築造		m	465	366	378	200	300
(2) 事務事業の目的							
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	<b>28年度</b> (見込)
ア 浜之市地区の区画整理対象区域							
1							
<mark>ㅎ</mark>							
<ul><li>① 意図</li><li>(②対象をどうしたいのか)</li></ul>	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (目標)	28年度 (目標)
ア 良好な宅地として整備する							
1							
<mark>ㅎ</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (目標)	28年度 (目標)
アゆとりある住宅を確保できる							
1							

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

ゥ

平成元年に浜之市地区の住民から区画整理 事業の要望があり、平成2年度にまちづくり基本 調査、平成3年度に区画整理事業調査を行い、 また、平成5年2月には事業推進協議会が設立 され、事業実施に向けて取組が始まった。区画 整理区域内の地権者等から、風水害等で被害 が出ると思われる老朽住宅が多かったため、早 期の事業完成を望む声が多く聞かれる。

А	1. 事業費の推移						単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
+	777	R IR	,V) 1	生物			半世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	と出	睁	千円	93,775	46,032	42,684	55,000	19,502
	事	事業費財源内ででのの		金	千円	3,078	1,447	1,342	1,371	469		
	事業費	源内	地	7	5	債	千円	301,100	156,200	59,000	45,800	15,000
	費	訳	そ	0	)	他	千円	1,908	10,293	17,568	11,507	11,508
投入量			_	般	財	源	千円	80,074	33,279	0	11,227	98,021
量		哥	業	費			千円	479,935	247,251	120,594	124,905	144,500
	,											

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

#### (1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

1.委託料		
仮換地指定等業務委託等(繰越)	4件	2,214,000円
2.工事請負費		
区画街路築造工事等(繰越)	7件	44,526,840円
3.補償補填及び賠償金		
支障電気通信線路移転補償(現年)	5件	1,639,076円
建物等移転補償等(繰越)	9件	72,213,909円

売買等による土地分筆に係る仮換地指定等について適正に処理できた。また、区画道路の建設や宅地整地を進めたことで、新築家屋が増え、居住環境の良好な市街地が形成されてきた。 このことにより、事業進捗率は平成26年度末の事業費ベースで85.8%、仮換地指定率は98.9%に達した。

□ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見上する余地はあるも関係ある □ 向上する余地はあるも関係ある □ 向上する余地はあるとはある □ 向上する余地はあるとはあるので □ が、		事務事業 コード	01080	50201010104	事 務 事業名	浜之市	5土地区	画整理	里事業	担当部担当課		设部 整理課
□ おびついている □ 開始的に対けないでいる □ 開始的に対けないでいる □ 高ながついていない □ 高ながついていない □ 高ながついていない □ 表生である □ 見面すめまから □ 見面すめまから □ 見面すめまかとりませんか? □ 向上する余地はなどんどない □ 向上する余地はなどんどない □ 向上する余地はなどんどない □ の上する余地はなどんどない □ 野型の手指から、統合又は法様できる。 □ 財産できる □ 財産できない □ 財産できない □ 削減できる □ 利達できない □ 削減できな。 □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できる □ 財産できない □ 削減できる □ 東急事業の手後(やり)を上がら上で、人件長(後へ業務時間)を制成がらいた。 第続時間の刑核を行っており、江山上の、野急事業の手後(やり)を上することで、大学長(後へ業務時間)を制成がらいた。 第続時間の刑核を行っており、江山上の 別議できない □ 削減できる □ 東急事業の手後(やり)を上がした。 第続時間の刑核を行っており、江山上の 別様できない □ 削減できない □ 削減できる □ 見面すめまからの音を対しますないますか? □ 小などのまたが、型の支急に関っていませんか? まる事業の内容を対したりと、大学の主が、第続時間の刑核を行っており、江山上の、大きの事業の対しています。 「日本の事業を対しています。」 「日本の事業を対し、「日本の事業を対し、「日本の事業を対しています。」 「日本の事業を対し、「日本の事業を対し、「日本の事業を対し、「日本の事業を対し、	6. <u>‡</u>	振り返り ・	<see></see>	•						理由		
□ 開接的に結びついている □ 結びついている □ 結びついている □ 様びついていない  □ の上する余地に対かわなければならないのですか? □ の上する余地に対からない。 □ の上する余地に対かると間である □ の上する余地に対かると間である □ の上する余地に対したとない □ の上する余地に対したとない □ の上する余地に対したとない □ が置かある □ の上する余地に対したとない □ が置かある □ 形成の目的でき。定別・支援制度(ペントで意味)を持つ他の事故 ・ 無知をありませんか? □ が置かある □ 形成の自動であるが、統合文は連携できない □ 類似の事業はあるが、統合文は連携できない □ 類似の事業はあるが、統合文は連携できない □ 類似の事業があり、総合文は連携できない □ 別域できる、公対にお助いけ、市の自動を経文できない □ 別域できるい □ 別域できるい □ 別域できるい □ 別域できるい □ 別域できるい □ 別域できるい □ 別域できる □ 東京事業の手段(やり方と主することで、人件表(迄~景度特別を検別を表現) □ 別域できるい □ 別域できる □ 東京事業のの関心におりますなが、 □ 別域できるい □ 別域できるい □ 別域できる □ 東京事業の対象が一般の変量的に繋っていませんか? □ 形域できない □ 別域できるい □ 別域できる □ 東京事業の対象が一般の変量的に繋っていませんか。 □ 別域できる □ 東京事業の対象が上のできない □ 別域できる □ 東京事業の対象が上のできない □ 別域できる □ 東京事業の対象が表現を表れていますない。 □ 別域できる □ 東京事業の対象が表現を表れていますない。 □ 日はできる。 □ 東京事業の対象が表現を表れていますない。 □ 中は28年度の改革を表がある。 □ 東京事業の対象が上ので表現を表れていますなが表現を表れた。 □ 東京事業の対象が上ので表現を表れていますなが表現を表れた。 □ 中は28年度の改革を表が表現を表れた。 □ 中は28年度の改革を表が表現を表れた。 □ 中は28年度の改革 ・		① この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	吉びついています	ナか?					
□ おおいっしていない □ 大きの本語を対したではないのですか? □ 大きの本語を対して進度するできないのですか? □ 大きの本語はあるというできない □ 内上する本語は同窓性はありませんか? □ 内上する本語はほとんどない ⑤ 成正・水山の影響はありませんか? □ 内上する本語はほとんどない ⑤ 原理・水山の影響はありませんか? □ 対象の事業はあるが、新合文は連携できない □ 類似の事業がある □ 別域できない □ 別域できる			結びつ	いている								
□ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はためである □ 向上する余地はためでりある □ 向上する余地はためでりある □ 向上する余地はためでりある □ 向上する余地はためである □ 診響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響があるが、統合文は連携できない □ 類似の事業があり、統合文は連携できない □ 別似で事なが、□ 別似で事なが、	A		間接的	に結びついてに	いる							
□ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はためである □ 向上する余地はためでりある □ 向上する余地はためでりある □ 向上する余地はためでりある □ 向上する余地はためである □ 診響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響があるが、統合文は連携できない □ 類似の事業があり、統合文は連携できない □ 別似で事なが、□ 別似で事なが、	的妥		結びつ	いていない								
□ 見直す必要がある □ 向上する余地は可能性(はありませんか? □ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はほとんどない □ 発生がある □ の上する余地はほとんどない ② 廃止・休止の影響はありませんか? □ 影響がほとんどない □ 類似の事業はあるが、競合又は連携できない □ 類似の事業はあるが、競合又は連携できない □ 類似の事業はあるが、競合又は連携できない □ 別似の事業はあるが、競合又は連携できない □ 別似の事業はあるが、競合又は連携できない □ 別似の事業はあるが、競合又は連携できない □ 別域できない □ 別域できる □ 会域のの対ないを担により付きを用域できませんかっ □ 別域できる □ 会域の対ない □ 別域できる □ 会域を対象の方をで会はよりは今を用域できまなかっ □ 別域できる □ 会域を対象の方をで会はよりは今を用域できまなかっ □ 別域できる □ のまなまの方をで会はよりは「シースを見していませんかっ □ 別域できる □ 見恵す必要がある □ クリカ改善 コスト協充 コスト権小 連携 統合 休止 多本の方向性 ではない・ □ 記述の方向性 の	当性					<b>りですか?</b>						
3 成果が向上する余地 可能性 はありませんか?	ı											
向上する余地はかなりある			見直す	· 必要がある								
□ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はほとんどない □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がほとんどない □ 影響ので作品がつきは水実施するものを含む。) □ 指側の事業はあい。 □ 類似の事業はあい。 接合又は連携できるい □ 類似の事業はあい。 接合又は連携できる □ 刷滅できるい □ 刷滅できるい □ 刷滅できる・		③ 成果だ	が向上する	る余地(可能性)	) はありませんか	١?						
□ 向上する余地はほとんどない ② 東止・休止の影響はありませんか? □ 影響がある □ 影響がほとんどない ⑤ 類似の事業はありませんか? □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できない □ 側域できる □ の余地により人件責任例域できませんか? □ 側域できる □ 側域できる □ 側域できる □ の表書のの対応とで、大作責任べ業務時間)を削まったとで、表海時間の削減を行っており、これ以上の余地になって、実施のの対応を指により人件責任例域できませんか? □ 側域できる □ 側域できる □ 側域できる □ の表書により人件責任例域できませんか? □ 側域できる □ のままた。安護者関の公平在が環境を持ていませんか? □ 小型の対応を発化するとで、表海時間の削減を行っており、これ以上の余地になった。 □ 削減できない □ 削減できる □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 〈PLAN〉(組織決定) (多角形域の基本表現の方的性 保証・ 10 人の 11 本務事業の改革 様を			ーニー	る余地はかなり	 Jある							
(4) 廃止・休止の影響はありませんか?  □ 影響が起 □ 影響が起 □ 影響がほとんどない 「動機の事業はない」 類似の事業はあが、統合又は連携できない □ 類似の事業はない □ 類似の事業はあが、統合又は連携できない □ 開放できない □ 削減できない □ 削減できる  ■ 非常事の事後(や)方)を工夫することで、人件費(足へ業務時間)を削減を指した事務的理がよっという。これ以上の) 治療力がある影響により人件費を削減できませんか? ■ 削減できない □ 削減できる  ■ 非常事のの容が、部の受益者に偏っていませんか? □ 公平・公正である □ 気に 生人が変により人件費を削減できませんか? □ 別域できない □ 削減できる ■ 非常事のの容が、部の受益者に偏っていませんか? また、受益者自由の公平位が確保されていますか? □ 公平・公正である □ 気に を持ちないの支益者に偏っていませんか?また。交益者の内容が・部の受益者に偏っていませんか。また。交益者は四公平位が確保されていますか? □ 公平・公正である □ 気に 体別者の理解と信頼関係を得られるように努め、差第一地区、生人影束地区との連携で、効率的な事が処理なるの内容(取り組むべき課題) □ 国道10号の財福工事に向けた、各間係機関との経験を終わらせ、29年度から工事者手できるように進める。・仮検地指定完了に向け、未相定地の地能者 交渉を追める。 (3) 平成28年度の方向性・取組目標 「回道10号の財福工事に向けた、各間係機関との経験を終わら、29年度から工事者手できるように進める。・仮検地指定完了に向け、未相定地の地能者 交渉を追かる。 (4) 事務事業の改革 機能 やり方改善 コスト拡充 コスト統小 連携 統合 体止 原表 大口 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			向上す	る余地はある私	 呈度ある							
影響がほとんどない   影倒の自身(対象・意図)又は影響(ペント・で音楽等)を持つ他の事務	İ		向上す	る余地はほとん	しどない							
歌音の自動(対象・電別 又は影影(イベントや密発率)を持つ他の事務	P	④ 廃止・	休止の影	 /響はありません	 いか?							
歌音の自動(対象・電別 又は影影(イベントや密発率)を持つ他の事務	有為		影響が	 :ある								
	催											
□ 類似の事業はない □ 類似の事業があり、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できる ⑥ ・	ŀ						の事務	類似	事業がある場			
□ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できる ⑥・事業事業の手祭(やり方と工ますることで、事業を料域できませんか? ■ 削減できない □ 削減できる □ 削減できる □ 削減できる □ 削減できない □ 削減できる □ 見直す必要がある □ 見道すが表異が、次中的な事務処理な改善の内容・定性利者の理解と信頼関係を得られるように努め、蓋第一地区、集人駅東地区との連携で、効率的な事務処理な改善の内容・定し、無人駅東地区との連携で、効率的な事務処理な改善の内容・定しに対した。 □ 削減できない □ 削減できる □ 単端・大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		○ 争耒16			の主体が実施する	らものを含む。)		台の	事務事業名寺 ————			
□ 類似の事業があり、統合又は連携できる ⑥ ・事務事業の手段(やリカ)を工夫することで、事業発を削減できませんか? ■ 削減できる ● 前減できる ● 小事務事業の手段(やリカ)を工夫することで、人件費(単へ業務時間)を削減 一定主せらかの別のの表します。ことで、人件費(単へ業務時間)を削減 できませんか? ■ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できる ● 削減できない □ 削減できる ■ 削減できない □ 削減できる □ 見面する要がある  ② 事務事業の内容・部の受益者に乗り人件費を削減できませんか? ■ 削減できる □ 見面する要がある  ② する、変素者質担の公平性が確保されていませんか? また、変素者質担の公平性が確保されていませんか? また、変素者質担の公平性が確保されていませんか? また、変素者質担の公平性が確保されていませんか? また、変素者質担の公平性が確保されていませんか? また、変素者質担の公平性が確保されていませんか? また、変素の内容・体化 ② 平の上である □ 見面する要がある  ② 見面する要がある  ② 現代の改革、 (日間により、 (日により、 (日間により、 (日間により、 (日間により、 (日間に	-				統合又は連携	できない						
(6) 事務事業の手段(やりカを工夫することで、事業費を削減できませんか?	ŀ											
■ 削減できない □ 削減できる □ 削減できる □ 事務事業の手段(やりカ)を工夫することで、人件費(経べ業務時間)を削減 できませんか? □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できる □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 < PLAN> (組織決定) □ 以事務事業の改革 改善の方向性 □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 < PLAN> (組織決定) □ 本に権利者の理解と信頼関係を得られるように努め、競第一地区、集人駅東地区と関係した事務処理をグルーできませんか? □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 < PLAN> (組織決定) □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  (1) 事務事業の改革 改善の方向性 □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 < PLAN> (組織決定) □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  (3) 平成27年度の改革改善の内容 (第7) 組制・へき課題) □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		⑥ ·事務	事業の手段	皮(やり方)を工夫	することで、事業費	と 削減できません						
日	ŀ				、市の負担を削減	<b>似できませんか?</b>				とで経貨の即風	を打つくわり、こ	-*1.671年0.
##	С											
世代	効率	-事務	事業の手段		することで、人件費	と (延べ業務時間)	を削減	麓第-	一地区、隼人駅	『東地区と類似』	た事務処理を	グループ
□ 削減できる	性	(7) できまt	せんか?							時間の削減を行	「っており、これ.	以上の削
■ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか? また、受益者負担の公平性が確保されていますか? □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 〈PLAN〉(組織決定) (参考)前年度の改革改集の方向性 《 継続 》 (1)事務事業の改革 ② 常に権利者の理解と信頼関係を得られるように努め、麓第一地区、隼人駅東地区との連携で、効率的な事務処理 ③ 常に権利者の理解と信頼関係を得られるように努め、麓第一地区、隼人駅東地区との連携で、効率的な事務処理 ③ で改善の内容 (限り組むべき課題) ・ 国道10号の拡幅工事に向けた、各関係機関との協議を終わらせ、29年度から工事着手できるように進める。 ・ 仮換地指定完了に向け、末指定地の地権者交渉を進める。 (3)平成28年度の方向性・取組目標 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 度 改善方向性			削減で	きない								
□ 公平・公正である □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 <plan> (組織決定)</plan>												
7. 1次評価結果	D	8 事務等	事業の内容 受益者負	容が一部の受 <mark>益</mark> 担の公平性が	益者に偏っている 確保されていま	ませんか? すか?						
見直す必要がある	公平		公平・公	公正である								
(1)事務事業の改革 改善の方向性	性		見直す	必要がある								
(1)事務事業の改革	<b>7.</b> 1	1次評価報	果 <f< th=""><th>PLAN&gt;(組制</th><th><b>数</b>決定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改革</th><th>改善の力</th><th>方向性≪</th><th>継続</th><th></th><th><b>&gt;</b></th></f<>	PLAN>(組制	<b>数</b> 決定)	【参考】前	年度の改革	改善の力	方向性≪	継続		<b>&gt;</b>
改善の方向性       O       常に権利者の理解と信頼関係を得られるように努め、麓第一地区、隼人駅東地区との連携で、効率的な事務処理 常改善の内容 (取り組むべき課題)         (3)平成28年度の方向性・取組目標       ・国道10号の拡幅工事に向けた、各関係機関との協議を終わらせ、29年度から工事着手できるように進める。 ・仮接地指定完了に向け、未指定地の地権者交渉を進める。         8. 2次評価結果 (担当部長評価)         (1)事務事業の改革改善方向性       経続       やり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 体止 度	(1)	<b></b>	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	1	休止	廃山
(2) 平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)  ・国道10号の拡幅工事に向けた、各関係機関との協議を終わらせ、29年度から工事着手できるように進める。 ・仮換地指定完了に向け、未指定地の地権者交渉を進める。  (3) 平成28年度の方向性・取組目標  8. 2次評価結果 (担当部長評価)  (1) 事務事業の改革改善方向性  な善方向性  な善方向性  な善方向性				0	1777-421		_, ,	MH 3		490 🖂		
・国道10号の拡幅工事に向けた、各関係機関との協議を終わらせ、29年度から工事着手できるように進める。					】 D理解と信頼関係	L 係を得られるよう	<u> </u> に努め、	麓第一	地区、隼人駅列	】 東地区との連携	 で、効率的な事	  務処理を
基改善の内容 (取り組むべき課題)       ・国道10号の拡幅工事に向けた、各関係機関との協議を終わらせ、29年度から工事着手できるように進める。 ・仮換地指定完了に向け、未指定地の地権者交渉を進める。         (3)平成28年度の方向性・取組目標       ・仮換地指定完了に向け、未指定地の地権者交渉を進める。         8. 2次評価結果 (担当部長評価)       (1)事務事業の改革改善方向性	(2)	平成27年	度の改	0								
・国道10号の拡幅工事に向けた、各関係機関との協議を終わらせ、29年度から工事着手できるように進める。         ・仮換地指定完了に向け、未指定地の地権者交渉を進める。         8. 2次評価結果 (担当部長評価)         継続       やり方改善コスト拡充       コスト縮小       連携       統合       休止       り         ・国道10号の拡幅工事に向けた、各関係機関との協議を終わらせ、29年度から工事着手できるように進める。         ・仮換地指定完了に向け、未指定地の地権者交渉を進める。	革改	対善の内容	Į.									
・仮換地指定完了に向け、未指定地の地権者交渉を進める。         8. 2次評価結果 (担当部長評価)         (1)事務事業の改革 改善方向性             継続       やり方改善コスト拡充       コスト縮小       連携       統合       休止       身	(-IX	) 11 C	, white									
(3) 平成28年度の方向性・取組目標         8. 2次評価結果 (担当部長評価)         (1) 事務事業の改革改善方向性       継続       やり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 体止 厚				・国道10号の	拡幅工事に向い	ナた、各関係機関	<b>関との協</b> 請	髪を終れ	らせ、29年度7	から工事着手で	きるように進める	5.
R. 2次評価結果 (担当部長評価)   (1)事務事業の改革 改善方向性   総続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 ほ は	<i>(</i> = <i>)</i>	<b>-</b> 8		•仮換地指定	完了に向け、未	指定地の地権を	者交渉をは	生める。				
(1)事務事業の改革 改善方向性 総続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 厚	(3) 向性	平成28年	度の万 票									
(1)事務事業の改革 改善方向性 総続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 厚												
(1)事務事業の改革 改善方向性 総続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 厚												
改善方向性	8. 2	2次評価報	果(担	当部長評価)								
			の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃山
(2)総評	改善	F万冋性 ———										
(2)総評												
\\\\C\/\mathcal{n}\to\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	(2)	松 =亚										
	(2)	邢 高千										

事務事業	0108050201010104	事 務	浜之市土地区画整理事業		建設部
コード	0108030201010104	事業名	供之川土地区回 <b>置</b> 柱争未	担当課	区画整理課
9. コストの	推移				

9. :	기자	-の推移			
		(単位:千円)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度(計画)
1	報	. 西州			
2	給				
3	職	員手当等			
4	共				
5	災	害補償費			
7	賃				
8	報				
9	旅				
10	交				
11	需		0	0	0
		消耗品費			
		燃 料 費			
		食 糧 費			
		印刷製本費			
		光熱水費			
		修繕料			
		賄材料費			
		飼料費			
10	ζП	医薬材料費	0	0	0
12	役		0	0	0
		通信運搬費			
		広 告 料 手 数 料			
		保険料			
13	 委		2,214	4,000	4,500
14			2,214	4,000	4,500
15		事請負費	44,527	32,000	45,000
16			11,021	02,000	10,000
17		有財産購入費			
18		品購入費			
19		担金補助及び交付金			
20	扶	助費			
21	貸				
22	補	償補填及び賠償金	73,853	88,905	95,000
23		<b>還金利子及び割引料</b>			
24	投	資及び出資金			
25	積				
26	寄				
27	公				
28	繰				
	計		120,594	124,905	144,500
	特	国庫支出金	42,684	55,000	19,502
財	定	県支出金	1,342	1,371	469
財源内訳	特定財源	地方債	59,000	45,800	15,000
訳	<u> </u>	その他	17,568	11,507	11,508
		般財源	100 504	11,227	98,021
		計	120,594 0.55	124,905 0.55	144,500 0.55 0.5
1	補助	率	0.55	0.55	3/30
<del></del>	B P		77.007		3/30
作	耳	基本額	77,607		

### 平成26年度補正•流用状況

当初予算	138,000
補正予算	-12,210
補正第7号	-12,210
流用・充用	-4,818
予算合計	120,972

#### 平成26年度特定財源内訳

十八人工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工										
区分	名称	金額								
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	42,684								
県支出金	公共団体土地区画整理事業費	1,342								
地方債	都市計画事業債	59,000								
その他	その他使用料	287								
その他	土地建物売払収入	1,352								
その他	繰越金	15,929								
	合 計	120,594								
	·									

1. 基本	情報																		
事務事	業	01080502	01010105	主	<b>坐夕</b> 相	<b>主 人 匡</b>	1年十	まな 画 教 祖	車業					担	当部	建設	と部		
コード							:尹未					担	当課		整理課				
政策名 01 快適で魅力あるまちづくり												·	グ	ループ	業務	5第3グノ	レープ	p	
施策	施策名 01 生活基盤の充実									電話番号					45-	45-5111			
基本事	業名	01	住宅	環境の整	備									内約	線番号	291	5•2916		
	会計	一般	会計				± **		単年	度のみ	<b>L</b>								
算	款	08	土木	費					事業期間		単年	F度繰返	1 開始年	F度					
予算     表記 一板云記       算数     08 土木費       科項の5 都市計画費       日の2 土地区画敷理费						初申		期間	間限定複	数年度(	(	H18	~	H34	)				
目	目	02	土地	区画整理	費				根拠法令·条例等	特に	なし								
評価区	分	1	簡易評	平価	評価文	対象	1	1次評価	関連計画										

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

◎⊄50分5541mm ④保留地販売 ※保留地…区域の地権者の方々から減歩により土地を提供していただいて新たに生み出した土地で、売却収入は事業の財源の一部になる。

1	) 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度
ア	建物移転		戸	0	0	3	1	13
1	宅地整地		m²	0	0	0	2,360	20,385
ゥ	道路築造		m	0	0	0	588	772
(2	2) 事務事業の目的							
	) <b>対象</b> 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	<b>24年度</b> (実績)	<b>25年度</b> (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	<b>28年度</b> (見込)
ア	隼人駅東地区内の区画整理対象区域							
1								
ゥ								
_	) <b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	良好な宅地として整備する							
1	魅力ある空間として整備し、賑わいを 創出する							
ゥ								
(3	3) 上位の基本事業							
	) 基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア		(工品型芯凸》/建床文之数 9 1日宗/		(天順)	(大順)		(11177)	(H/lx)
1								
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

区域内の権利者から市の発展のためにも、早期の工事着手・完成を望まれている意見が多いが、一方では一部慎重な意見もある。

4	Television di	-	i m t	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	李之	表現	W1	田伊			<b>单</b> 位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			国	庫3	を出	睁	千円	7,623	10,790	267,946	145,750	337,912
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	6,900	8,200	197,200	107,300	252,400
	費	訳	そ	0	0	他	千円	0	0	1,178	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	723	1,653	24,167	22,950	104,910
量		哥	業	費			千円	15,246	20,643	490,491	276,000	695,222

### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載

1 委託料

度和明查業務委託等(現年) 3件 4,209,419円 仮換地指定通知書作成等業務委託(現年)1件 1,684,800円 実施計画書(変更)作成等業務委託(繰越)1件 4,816,800円 仮換地指定通知書作成業務委託(繰越)1件 1,425,600円

仮換地信定通知書作放業税 2 工事費 建物基礎解体工事(現年) 3 補償補填及び賠償金 建物等移転補償 (現年)

1件 827,280円 10件 477,527,600円

建物調査結果を基に建物等移転補償契約が締結され、建物の解体及び更地にすることができた。このことにより次年度において都市計画道路、区画道路の築造工事を実施することが可能になった。また、仮換地指定通知書作成業務委託を行うことで仮換地指定をすることができた。平成26年度末の事業費ベースの進捗率は17.4%、仮換地指定率は 45.6%となった。 以上のことから、本区域における良好な宅地の整備に向けて事業が推

	事務事業 コード	01080	50201010105	事務事業名	隼人駅:	東土地区區	<b>「整理事業</b>	担当部		設部 整理課
	<b>振り返り &lt;</b>	SEE>	•	7.7.1				理由		正生环
				事業の意図に終	古びついています	ナか?				
			いている			_				
A			ル・くいる ニーニーニーニー Iに結びついてし	 \Z						
的			いていない			_				
A目的妥当性	② ・この ¾	 事業をな	 ぜ市が行わなけ	ければならないの	 のですか?					
¥	○ • 枕並		て達成する目的	]ですか?		_				
ŀ		妥当で	:める  <sup>-</sup> 必要がある							
	3 放果カ	いり上す。	る余地(可能性) 	) はありませんだ 	N ?	_				
-			る余地はかなり							
ŀ			る余地はある科							
ŀ			でる余地はほとん							
틸	④ 廃止・	休止の景	ジ響はありませ <i>A</i> 	<b>しか?</b>						
B有効性		影響が	である 							
_			ばほとんどない	65						
	⑤ 類似の	)目的(対	対象・意図)又は たんか?(市以外)	形態(イベントや) の主体が実施する	啓発等)を持つ他 らものを含む。)	の事務	類似事業がある場 合の事務事業名等			
		類似σ	事業はない							
		類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない					
		類似σ	事業があり、統	合又は連携で	きる					
	⑥ :事務事	事業の手段	g(やり方)を工夫 <sup>・</sup> 付先に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	費を削減できません 域できませんか?	こと	地権利者の要望 は困難であるが、	可能な限り委託		
ı	-	削減で	きない			で、	これ以上の削減の	0余地はない。		
C 効		削減で	きる							
率	·事務事 ⑦ できませ		<sub>役</sub> (やり方)を工夫・	することで、人件費	貴(延べ業務時間)		ループ制により、付い、業務時間の			
) <u>+</u>	-職員以	以外の対応	なや委託により人	件費を削減できま	せんか?	ない		. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		. 100000
-			きない							
		削減で		**!-  <b> </b> -1\	+11/40					
$\boldsymbol{\nu}$			容が一部の受益 負担の公平性が							
公平性		公平・	公正である							
<u> </u>		見直す	必要がある							
7. 1	1次評価結	果 <	PLAN>(組織	(決定)	【参考】前	年度の改革改	∮の方向性≪	継続		<b>&gt;</b>
1)	事務事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮り	・連携	統合	休止	廃止
	手が手术を		0				0			
			事業計画に基	L 基づき仮換地、対	L 建物移転補償等	<b>L</b> の交渉及び	道路築造·街区整	▲ 地工事を推進し	、業務委託等	 についてもま
2)	平成27年月	生の改	めて発注ができ	きるように努める	。また、グルーフ	"制により浜ス	と市地区、麓第一	地区との連携を	凶り効率的な事	移を行う。
革改	対善の内容									
. AX °	り組む・・こ	<b>示</b> 因/								
			平成27年度に都市	5計画道路日当山線	(140m)に着手すること	ができたことから	、引き続き日当山線(約	300m)の築造工事(用	水路付替え工事含	む)を行う。 併せて
				び区画道路(W=6m)	の築造工事を行うこと 歯僧を行うことで 日当	で、日当山線に 山線、駅東線及	、引き続き日当山線(約 接する街区(1BL、3BL)の び排水路の整備を行う	宅地造成を行い、土 ことが可能になり、今往	地権利者に対し使り 後の面整備、水路の	用収益開始を行う 整備など事業進
			特殊道路(W=4m)及 た、区域中心にある が大きく進むことに	人規模工場の移転性 なる。	III METITOCE CON IN I					
(3)	平成28年原 生•取組目標	度の方	が大きく進むことにて ・都市計画道路、区 ・仮換地・建物等の ・仮換地の指定及び	よる。 画道路等の築造工事 移転補償交渉を行う。 『建物調査等の業務』	事を行う。 , 委託を行う。					
(3) 句性	平成28年/ 生•取組目標	变の方 票	が大きく進むことにて ・都市計画道路、区 ・仮換地・建物等の ・仮換地の指定及び	よる。 画道路等の築造工事 移転補償交渉を行う。 『建物調査等の業務』	事を行う。 , 委託を行う。	を図ると共に、オ	市の交通体系の機能強	a化を図る。		
(3) 句性	平成28年版 生•取組目標	度の方票	が大きく進むことにて ・都市計画道路、区 ・仮換地・建物等の ・仮換地の指定及び	よる。 画道路等の築造工事 移転補償交渉を行う。 『建物調査等の業務』	事を行う。 , 委託を行う。	を図ると共に、オ	市の交通体系の機能強	<b>化を図る。</b>		
句性	平成28年原 生·取組目標 2次評価結	<b></b>	が大きく進むことにて ・都市計画道路、区 ・仮換地・建物等の ・仮換地の指定及び	なる。 画道路等の築造工事 移転補償交渉を行う。 建物調査等の業務 新しい交通拠点とし	事を行う。 , 委託を行う。	を図ると共に、オ	市の交通体系の機能強	創化を図る。		
<b></b> 3. 2	生·取組目材 	果(担	が大きく進むことにア・ ・都市計画道路、区 ・仮換地・建物等の ・仮換地の指定及び ・JR隼人駅の東口を	たら、 画道路等の築造工等 移転補償交渉を行う。 発物調査等の業務 新しい交通拠点とし	事を行う。 委託を行う。 た中心市街地の形成				休止	廃止
<b>6.</b> 2	生•取組目標	果(担	かってく進むことに、 ・都市計画道路、区 ・仮操地・建物等の ・仮操地の財産及び ・R準人駅の東口を	なる。 画道路等の築造工事 移転補償交渉を行う。 建物調査等の業務 新しい交通拠点とし	事を行う。 , 委託を行う。	を図ると共に、オ コスト縮/		線化を図る。 統合	休止	廃止
<b>6.</b> 2	生·取組目標 2次評価結 事務事業(	果(担	かってく進むことに、 ・都市計画道路、区 ・仮操地・建物等の ・仮操地の財産及び ・R準人駅の東口を	たら、 画道路等の築造工等 移転補償交渉を行う。 発物調査等の業務 新しい交通拠点とし	事を行う。 委託を行う。 た中心市街地の形成				休止	廃止
<b>う性</b> 3. 2	生·取組目標 2次評価結 事務事業(	果(担	かってく進むことに、 ・都市計画道路、区 ・仮操地・建物等の ・仮操地の財産及び ・R準人駅の東口を	たら、 画道路等の築造工等 移転補償交渉を行う。 発物調査等の業務 新しい交通拠点とし	事を行う。 委託を行う。 た中心市街地の形成				休止	廃止
向性 <b>8. 2</b> (1):	生·取組目標 2次評価結 事務事業(	果(担	かってく進むことに、 ・都市計画道路、区 ・仮操地・建物等の ・仮操地の財産及び ・R準人駅の東口を	たら、 画道路等の築造工等 移転補償交渉を行う。 発物調査等の業務 新しい交通拠点とし	事を行う。 委託を行う。 た中心市街地の形成				休止	廃止

事務事業 010805020101			事 務 事業名	事務				建設部		
⊐	_F	30201010103	事業名	<b>華八</b> 歌宋	工地区凹定理事末	扎	旦当課	区画	整理課	
9. :	コストの推利	ş								
	(単·	位:千円)	平成26	年度 (決算)	平成27年度 (当初	予算)	平月	成28年度	(計画)	
1	報	西州								
2	給	料								
3	職員手	当 等								
4	共 済	費								
5	災害補	償 費								
7	賃	金								
8	報 償									
9	旅	費								
10	交 際									
11	需用			0		0			0	
		品 費								
		4 費								
		量費								
		製本費								
	光 熱	水 費								
		善料								
	賄 材	料 費								
		4 費								
		材料費								
12	役務	費		0		0			0	
	通信证	重搬費								
	広 台	告 料								
	手	数 料								
	保	食 料								
13	委 託	料		12,137		11,000			22,000	
14	使用料及び	賃借料								
15	工事請			827		165,000			243,501	
16		料 費								
17	公有財産									
18	備品購	入費								
19	負担金補助及	び交付金								
20	扶 助	費								
21	貸付	金								
22	補償補填及	び賠償金		477,527		100,000			429,721	
23	償還金利子及	び割引料								
24	投資及び	出資金								
25	積 立	金								

## 補助基本額 平成26年度補正•流用状況

26

27 公

財源内訳

28 繰

寄

補助率

附

課

出

国庫支出金

般 財源

玉

県

| 国庫文山 並 | 県支 出 金 | 地 方 債 | そ の 他

1 177 - 1 104 110 - 4 107 117	****
当初予算	662,000
補正予算	-173,299
補正第7号	-173,299
流用・充用	-2,183
予算合計	486,518

金

費

金

#### 平成26年度特定財源内訳

490,491

267,946

197,200

1,178

24,167

490,491

487,175

0.55

0

十成20千度特定知源内部										
区分	名称	金額								
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	267,946								
地方債	都市計画事業債	197,200								
その他	繰越金	1,178								
		466,324								
		,								

276,000

145,750

107,300

22,950

276,000

0.55

0

0

695,222

337,912

252,400

104,910

695,222

0.5,0.55

				平	成27年度	3	事系	务事	業振	返り	シ-	- -	( 2	平成26年度	実施事業の	の振返り)			
1. 基本																10 V/ +0	7-h 50 dec		
事務事業 □―ド □1885029999901 <mark>事務事業名</mark> 土地区画整理関係各種協調										重協諱	<b>美会</b> 等	萨参画	i事	業		担当部 担当課		建設部区画整理課	
政策	-	1	快通	で魅力	あるまちづくり											<u>担ヨ味</u> グループ	業務第1:		
	施策名     1     医過じたののまでであり       施策名     1     生活基盤の充実															<u>ブルーン</u> 電話番号	45-5111		
基本事		1		環境の												内線番号	2911		
予	会計		会計								事業			単年度のみ					
予 算 科 目	款	08	土木								期間			単年度繰過		度 I	H 22 年月		
科   日	項	05	_	計画費	TH #L					10 100	法令・条件	_		期間限定物	夏数年度(		~	)	
評価区	1日	02	簡易	地区画整 評価	<sup>理質</sup> 評価対象		1	次評	価	_	連計								
2. 事務							1	MI	ІШ	大	生口								
					なやり方、手順		細え	,記述	-)										
					少土地区画整理					地車間	日発は	会」へ	<b>-</b> の	年会費及び	研修会参加	川負担金を	支払う.		
①活動	指標	(事務	务事業	美の活動	量)							単位	ኒ	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度	
ア研修	会参加	□ 考										人		6	5		6	4	
	<i>D</i>	н- 🗖											-	0				1	
1																			
ゥ																			
(2)事	務事	業の	目的																
② 対象					3 \$	1象	指標	Į				24 L	_	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
(誰、何	を対象	きにし	ている	ろのか)	/ (左	記②	対象	やの大	きさを	表す指	旨標)	単位	1	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込	
ア土地	区画	2理事	業																
1																			
ウ																			
<b>④</b> 意図	]				<b>⑤</b> A	大果技	指標	Į				224 /		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
(②対象	身をどう	したい	いのカ	z)	/ (左言	24億	図	の達用	<b></b>	表す指	旨標)	単位	1	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	
ア事業	を円滑	に進	め完	了させる															
1																			
ウ																			
(3) 上	位の	基本	事業																
⑥ 基本					_				<b>戊果指</b>			単位	<del>,</del>	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
(さらにと	ごのよう	な成男	見に結	びつくの	か) / (左言	26億	(図)	の達用	<b></b>	表す措	旨標)	+12	_	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	
アゆとり	うある住	E宅を	確保	できる															
1																			
ゥ																			
3. 事務	事業	の環	竟変	化・市区	意見等		亩	学典	の推	秘		単位	Ļ	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
					などからの意見等)	4.	Ŧ	未貝				中山	L	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)	
これまで	で街つ	がくり土	:地区	画整理	協会」、「全国 毎年参加す				国庫			千円	]				0	0	
る研修会							事	財源	県3	支 出		千円	_				0	0	
							事業費		地	方	債	千円				-	0	0	
						 	貝	訳		の	他	千円	_					0	
						投   入		<u> </u>		投 財	源	千円	_			22			
						量	_	_	業費			千円	j	0	0	22	4 22	24 2	
						II							_				+		
						II							-				+		
						II	$\vdash$						4				+		
						<u> </u>	<u> </u>												
5. 平成	26年	夏の	美績	及び成	果														

負担金 街づくり区画整理協会年会費 全国市街地再開発協会年会費 住宅市街地整備研修会参加負担金

132,000円 80,000円 12,000円

事務事業 01			01080	50299999901 事務 事業名 土地区画整理関係: 事					議会等参画	担担		部 課		設部 整理課
6.	振り	返り <	SEE>	<b>&gt;</b>							理	由		
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	詰びついています	か?							
			結びつ	いている										
[			間接的	うに結びついてし	いる									
A目的妥当性			結びつ	いていない										
性	2	·この ·税金	事業をな を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ければならない( ]ですか? 	のですか? 								
			妥当で	:ある 										
			見直す	必要がある						_				
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんだ	) <sup>'</sup> ?								
			向上す	る余地はかなり	Jある 									
			向上す	る余地はある科	星度ある									
			向上す	る余地はほとん	<i>」</i> どない	_								
县	4	廃止・ℓ	休止の景	ジ響はありませ <i>A</i>	しか?									
B有効性			影響が	<b> </b>										
1				<b>「ほとんどない</b>	- 164									
	⑤	類似の事業は	り目的(対 ありませ	村象・意図) 又は けんか?(市以外)	形態(イベントや) の主体が実施する	啓発等)を持つ他( るものを含む。)	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等					
			類似σ	事業はない										
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
				事業があり、統				7 10 1	がなの点が出い	- 1 10	- F.	#1×≃n	de la ⊶n	フェルル書楽
	6	・事務事・補助金	業の手段など、交	役(やり方)を工夫・ 付先に働きかけて	することで、事業費に、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか? 	か?	費の削	ぞれの自治体に 減はできない。	_ルいし	に午会	質까設。	正されてい	るにめに事業
			削減で	きない										
C効率			削減で					+96 目目 4	II. めIII. 依人次』	el AA a	1担#1	r i-in d		ための参考資
半性	7	できませ	んか?	设(やり万)を工夫 <sup>・</sup> なや委託により人(		費(延べ業務時間)を せんか?	を削減	料を得	いて切じ云貝が ることができたり 用な研修に参え	)、また	-、斡旋	された	各種の研修	冬の中から、事
		4332.5		きない	TACITIES CO.			/K(=  1)	711-24/11/21(-2/	vн / с	,,	C 2/2	-00 (11100)	
			削減で	きる										
D	8			容が一部の受益 負担の公平性が										
D公平性			公平・	公正である										
性			見直す	- 必要がある										
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組織	(決定)	【参考】前4	年度の改	直改善の方	方向性≪					<b>»</b>
(1)	車系	多事業(	が出	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト		連携		統合		休止	廃止
		方向性		0	. ,,,,,,,,			110 2	~		1,70 14			
				事業推進につ	L いて他自治体等	     学の情報収集に努	子める。							
(2)	平月	成27年月	きの改											
革司	女善(	の内容												
				各種研修会へ	多数参加するこ	とで、職員の能力	カアップ	を図り事	業の早期完成	に務る	める。			
(2)	जर =	±ooÆ F	<b>#</b> Λ±											
向性	生•耶	成28年原 双組目標	受の力											
8.	2次	評価結	果(推	当部長評価)										
		务事業の 向性	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止
W =	3 /J	1~1 (II												
(2)	総	評												
,_,														

事務事業コード	0108050299999901	事 務事業名	土地区画图	と理関	係各種協議会等	参画事業	担当部 担当課		建設部 画整理課
9. コストの	推移								
-	(単位:千円)	亚成26年	F度 (決算)		平成27年度	(当如另質)		平成28年度	(計画)
		十八,204	- 区(次并)		一次27年及	(ヨか)子		十八20十尺	
1 報 2 給	<u>酬</u> 料								
	員 手 当 等								
4 共	<del>マナョ サ</del> 済 費								
7 賃	金								
8 報	償 費								
9 旅	費								
10 交	際費								
11 需	用 費			0			0		0
炒炒									
食									
	別製本費								
光	光熱 水費								
修									
I —	材料費								
節									
12 役	<ul><li>薬材料費</li><li>務費</li></ul>			0			0		0
_									
戊									
手	数 料								
伢									
13 委	託 料								
	料及び賃借料								
	事 請 負 費 材 料 費								
	財産購入費								
	品購入費								
	:補助及び交付金			224			224		224
20 扶	助費								
21 貸	付 金								
	捕填及び賠償金								
	利子及び割引料								
24 投資 25 積	及び出資金 立 金								
26 寄	 附 金								
27 公	課費								
28 繰	出 金								
計				224			224		224
特国	庫支出金			0			0		
財財財				0			0		
特定財源特定財源				0			0		
=-	般財源			224			224		224
	計			224			224		224
補助率	围								
	県								
補助									
	<b>賃補正・流用</b> ∜				度特定財源内訳		- TI		^ +=
	の予算 エヌ質		224		区分		名称		金額
作用上	E予算		0						
			$\dashv$						
			$\dashv$ $\vdash$						
			$\dashv$		+				
流用	・充用								

224

予算合計

合 計